

2026年6月4日

近未来コンクリート研究会
施工性改善技術協議会（CII協議会）
活動概要

主査 竹田 宣典

【背景と目的】

建設分野は少子化や就業人口の減少により慢性的な人手不足の状況にあり、加えて、働き方改革など推進により、業務の進め方の改善が求められている。社会資本の整備に欠くことのできないコンクリート分野においては、設計、製造、施工、維持管理など幅広い業務の範囲があり、それぞれにおいて高い専門的知識が必要とされる。

少ない人数で高い品質の構造物を造るには、これまで蓄積された技術や技術者・技能者の経験およびデジタル技術など新しい技術を用いた業務改選を積極的に進めなければならない。また、過去の失敗事例や問題点などの検討も、業務改善を進める上で貴重な資料となると思われる。

施工性改善協議会（CII協議）では、産官学の参加により、コンクリート工事の施工性の改善方法について協議し、品質、工期、コスト、人的資源などの面における業務改善の方策を確立することを目的とする。

【主な活動内容】

主に下記の項目について検討を行うこととしている。

- ① 品質向上、工期短縮、コスト低減
- ② 省力化、機械化、デジタル化（DX）
- ③ 気候変動対策（暑中コンクリート、豪雨対策など）
- ④ 失敗事例など

【活動履歴】

2024年度

- ・第1回協議会：8月20日 新規テーマについて検討を行い、新協議会（CII）の立上げ
- ・第2回協議会：12月16日 「生コンクリート購入者から要求アンケート結果」に基づく問題点と意見交換
- ・第3回協議会：2月13日 ①打継処理剤材現状と問題点の検討
②「後添加型流動化剤増粘タイプによる施工性改善の検討（流動化実験）」に関する提案

2025年度

- ・第1回協議会：9月16日 ①土木学会年次大会 発表論文の紹介
②流動化実験の実験計画
- ・第2回協議会：12月16日 ①流動化実験の予備試験の報告
②スランプ検査廃止の動向
- ・第3回協議会：3月12日 ①流動化実験の模擬部材実験の報告
②沈下ひび割れ対策、残コン・戻りコンに関するディスカッション

【2026 年度実施予定】

現状の問題点、課題、技術紹介など毎回テーマを決めて検討を行う。また、毎回参加者から話題提供を行ない、意見交換を行うこととしている。

- ・第1回協議会：8月31日（月）10:00~12:00 3Dプリンタによる工事事例
- ・第2回協議会：12月1日（火）10:00~12:00
- ・第3回協議会：3月2日（火）10:00~12:00

*後添加型流動化剤増粘タイプによる施工性改善実験の現場施工実験

2026年9~10月 広島工業大学構内（検討中）